



情緒豊かな四季彩の郷やまうち情報紙

快晴やまうち

Vol.4

2012.12.1

発行
山内自治振興会

山内自治振興会 平成24年度事業中間報告 12月常会資料版

共通事業

地域消防器具安全点検事業

(安心環境部会管轄)
本年度も各區で順次点検を実施していただいています。一部の区では同時に防火訓練も実施していただいておりますので、来年度は全区で実施できるようにお願いします。



山内敬老会

(地域福祉部会管轄)
9月2日(日)に開催。約80名の参加者の下、市長の祝辞に始まり、なごやかに一日を過ごしていただきました。



事業交付金委員会

5月23日(水)、各区々長、自治振興会理事による委員会が開かれ、防犯灯、ゴミステーション、消防機材、区活動交付金について協議が行われました。



25年3月上旬の実績申請、下旬の交付となります。25年2月には来年度の概算予算申請をしていただきます。

安心環境部会

美しい里山再生事業

山林整備が今年4月に完成し、記念に「里山見学会」を11月18日(日)に行いました。41名の方が参加され、記念品に間伐材で作製したまな板を持って帰っていただきました。事業の詳細は下記の通りです。

- ・実施面積 / 8.4ha
- ・所有者 / 12人
- ・作業路 / 1,140m
- ・搬出材積 / 391m³
- ・収入 / 間伐材売上金 2,393千円
- ・補助金 6,157千円
- ・支出 / 事業費 7,200千円
- ・所有者への還元金 1,350千円



鳥獣害対策事業

捕獲用オリを黒滝・上の平・猪鼻の3ヶ所に設置しました。捕獲数は開始の11月15日よりトータルで鹿42頭、猪8頭の計50頭です。また、6月より毎月1回、計6回に亘り鹿料理講習会を受講し、12月9日には試食会を開催。11月11日には山中の十楽寺において鳥獣供養祭を執り行いました。



▲12月9日の試食会全メニュー

▼解体中のボランティアグループの皆さん

やまびこ文化祭 2012

やまびこ文化祭は本年度から、公民館との共催となりました。今年は11月23日から6日間開催され、23日には午前から各種体験イベント、午後はもちつき大会やバザーで賑わいました。



▲あいコムこうかのテレビ取材も受けました。

観光メッセ
11月10日の甲賀市観光ビジネスメッセで文化祭イベントの一つ、干し柿作りで作った干し柿と、山七さんの米粉等を販売。大人気で完売でした。



生き生きふるさとづくり、21ヶ月。

地域福祉部会

山内学区民球技大会

(区長会共催)



6月3日(日)、宮の下広場で区長会と共催でグラウンドゴルフ大会を開催しました。当日は約150名の方に参加していただきました。

やまびこドーム 管理業務委託事業

5月1日より、山内ゲートボール連盟の皆さんで管理作業をしていただいています。

山内の名人発掘事業



▲文化祭ではしめ縄等の講師として活躍

山内学区民運動会

(区長会共催)



9月16日(日)、山内小運動場で区長会と共催で開催しました。楽しく笑顔がこぼれる一日でした。結果は以下のとおりです。

- 綱引き 優勝/市場 準優勝/笹路
- お楽しみレース 優勝/A組:市場 B組:黒滝
- デカバンタイムトライアル 優勝/黒滝 準優勝/山女原
- 消防団班別対抗リレー 優勝/自動車班

人権尊重

「快晴やまうち」創刊号より、「シリーズ人権の窓」を設けて啓発記事を連載しています。やまびこ文化祭では人権パルーン「あゆみちゃんと守る君」に登場してもらい啓発に努めました。



山内ふれあいサロン

(民生委員児童委員共催)



80歳以上の方を対象に民生委員さんと共催で6月16日(土)に開催しました。当日は約40名の皆さんに参加していただき、楽しいひとときを過ごしました。

山内夢づくり部会

四季彩の郷若者交流事業



▲集合会場の山内小学校

◀オリエンテーリングでボランティア

10月21日(日)、第17回京大・京女大オリエンテーリング大会が、川西の長松寺から中之組の山手にかけて行われました。振興会では多くの大学生が各地から集まるこの機会に是非「山内」を発信しようと、昼食のサーブを行いました。参加者350人分の地元産野菜の具たくさん味噌汁と、地元産米のおにぎりを振るまいました。「こんなことは今までで初めてです」と主催者を始め参加者に大変喜ばれました。

ホームページ

ホームページから山内の「ホット情報」を25件届けました。現在は4,400人以上の方が閲覧されています。「山内自治振興会」で検索してください。

<http://www28.atpages.jp/yamauchi11/>

会報誌・広報

8月1日「快晴やまうち」第3号を発行。全戸配布しました。第4号は今回の12月に配布。



▲第4号

▲第3号

四季彩の郷若者育成事業



▲やまびこ文化祭にて



▲太鼓講師の中嶋心太先生



本年度も「和太鼓六友会」「山内エコクラブ」の2団体に、支援事業をしています。六友会は太鼓講師派遣、エコクラブは平成25年3月9日に共催事業を行います。

◀エコクラブ「山内村まるごと生活博物館」事業

快晴やまうち Vol.4

2012(平成24)年12月1日

発行:山内自治振興会
編集:山内夢づくり部会会報班
事務局:滋賀県甲賀市土山町黒川1970
有線:54-0379
I.P.:050-5833-0379
FAX:050-5833-0379
E-mail:yamauchi11@kouka.ne.jp

甲賀流で“魔法の小果樹”に育てたい!!

甲賀市地域課題解決型提案事業に認定

山内で“アロニア”という小果樹の試験栽培を始めます!

山内自治振興会では山内地域の休耕田の有効的な活用方法を調査研究する為に、昨年より3ヶ年計画でその取り組みを始めています。

昨年は山菜の王様と言われる“コゴミ”に注目して現在試験栽培もしています。しかし、この取り組みをする中で今後の経済的効果や山内の土地要件に見合わない点もあることがわかってきました。そこでこのデメリットをより克服する為に今年新たに研究していく小果樹を見つけ出しました。それが「とびっきりの健康小果樹」と言われる“アロニア”です。



新しい試み



コゴミ

●良い点

- ・誰にでもできる
- ・手間がかからない
- ・少ない経費ですむ
- ・鳥獣害に強い

●問題点

- ・小規模田にしか向いていない
- ・副収入として多くの収益が見込みにくい
- ・田畑の景観上、見栄えが悪い

アロニア

●良い点

- ・誰にでもできる
- ・手間がかからない
- ・少ない経費、労力ですむ
- ・副収入として収益が見込める
- ・商業ベースで成り立つ可能性が高い
- ・すべての田畑の大きさに適用できる

●調査点

- ・鳥獣害に強いのか?
- ・果実の成分が山内で栽培してきちんとあるか?



▲アロニア苗の植え付け



▲県・市とのミーティング

冬の寒さに強く、夏の暑さに耐えて、鳥獣害からも“アロニア”は守れるのか?

—それはこれからの始まりです—

この“アロニア”の試験栽培は甲賀市の地域課題解決型提案事業として認定され、「山内を元気にするふるさと資源活性化事業」として補助金が交付されることになりました。山内自治振興会ではこの事業を進めて行くにあたり、山内夢

づくり部会ふるさと資源活性化事業班と一般山内学区民の方々とのアロニア試験栽培ボランティアグループ「アロニアフロンティアグループ」を組織いただきました。このフロンティアグループで今後、生態調査を続けます。

特集

山内を元気にするふるさと資源活性化事業

至近のアロニア栽培地、長野県松本市へ視察研修に行きました!

9月1日(土)、アロニアの収穫間際の信州アロニア生産販売組合



▲信州松本奈川農園で研修

(組合長 奥原集氏)の奈川農園へ研修に行きました。



▲組合長の説明を聞く研修メンバー

「本場の本物」北海道千歳市、伊達市へ栽培技術研修に3名を派遣しました!

9月19日(水)~20日(木)の1泊2日で、苗木を購入する千歳市森林組合(担当 松井詔子氏)、実際に栽培されているふじた農園(代表 藤田努氏)、アロニア栽培を指導している北海道胆振農業改良センター(アロニア担当 猫塚雅彦



▲北海道胆振農業改良センターの猫塚さんより指導を受ける

氏)、アロニアの選果をしているJAとうや湖(担当 大沼健氏)、高齢者でアロニア栽培をしている伊達市シルバー人材センター(理事長 能戸友活氏)などで2日間びっしり指導を受けてきました。



▲「JAとうや湖」アロニアの選果ライン

この栽培技術を学んで今、山内から新しい実験が始まります。

11月2日(金)山内地域市民センターへ千歳市森林組合から、山内試験栽培用に購入したアロニアの苗木55本が届きました。翌11月3日(土)には5カ所の休耕田に植え付けました。最大のポイントは山内の夏の暑さに耐えて成分が出るか。鹿やいのししなど鳥獣害にどの程度いけるのか。

そして作ったものをどう販売経

路を開いて行くのか。幸いアロニアには健康果樹としての付加価値が大きいので、市や県では地元地域の医薬品メーカーと提携して医薬品やサプリメントとして販売する案も提言いただいています。また山内の皆さんの健康増進にも期待をかけています。平成25年度では果実の成分検査を行います。これからが実験です。

“アロニア”の魅力って何!

“アロニア”って見たことも聞いたこともない! 皆さんそうだと思います。

イタリア・フランスでは植物性医薬品として使われています。“アロニア”はバラ科の落葉低木で、耐寒性、耐暑性ともに優れている小果樹です。

北米原産で欧州を経てロシアに渡り、昭和51年から北海道でも栽培されるようになりました。健康食品としてポリフェノールの一種アントシアニンがブルーベリーやぶどうよりも含有量が多く、小果樹では最高レベルとされています。



この“アロニア”の主な効能として眼精疲労の回復、メタボリックの予防・改善、美肌効果、整腸作用、成人病予防など現代人に欠かせないものとして期待されています。

イタリア・フランスでは植物性医薬品として視覚機能改善薬や、血管強化薬といった医薬品として流通しています。服用後4時間くらいで効果が現れ、24時間継続します。多量摂取の不要分は尿などで排泄されます。最も実感できるのが、目の効果です。

北海道立総合研究機構食品加工研究センターの話では、動脈硬化予防や、中性脂肪の低下、血液サラサラ効果も実証済といえます。この“アロニア”の成分には魔法の力を秘めた何かがあるようです。

(千歳市森林組合「パンフレット」、北海道胆振農業改良センター「アロニア栽培の手引き」北海道の新聞紹介記事より)